

4. 対面+オンデマンド

グローバルイシュー1B

「情報数学」(2年次)

グローバルイシューIB

担当教員	小松 久恵
対象	国際教養学部国際教養学科 2,3,4
受講者数	27

授業の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・世界で起こっている移民、難民をめぐる問題を知る。 ・日本が現在直面している問題、今後発生するであろう問題を学ぶ。
ツール	<input checked="" type="checkbox"/> WebClass <input checked="" type="checkbox"/> Webex <input checked="" type="checkbox"/> Zoom <input type="checkbox"/> Mediasite <input type="checkbox"/> YouTube <input type="checkbox"/> LINE <input type="checkbox"/> その他()
ある1コマの授業プラン	<p>○導入 前回授業の振り返りと学生コメントへのフィードバック、今日の授業構成</p> <p>○講義 今日の授業内容についての解説、授業内容に関する問い</p> <p>○まとめ まとめ、次回の授業予告</p>
工夫した点	<ul style="list-style-type: none"> ・オンデマンドの場合は、PPTを使用しながら解説を加えたものを録画する。一本の動画の長さが10分から15分になるように編集する。 ・対面の場合、①Webclass チャット機能で学生の意見を集める。マイクを回して発言を促すよりも効果的に全員の意見を共有することが可能。②学生のプレゼンテーションについて、聴き手はForms で評価を行う。集計した点数を各自の評価点の一部とし、また次回授業でコメントを共有する。
今後の改善点	対面授業において、講義の中で学生への問いかけを増やし、授業への参加を促す機会を増やす。

これからオンライン授業に取り組まれる先生方へのメッセージ

「情報数学」(2 年次)

担当教員	中西 通雄
対象	経営学部経営学科 2,3,4
受講者数	12 名(最後まで 12 名がついてきた)

授業の概要	主に iPad を用いて、板書の代わりに用いている。また、iPad で書いたものは、PDF にして WebClass 上に開示した。 秋学期の前半はすべて対面形式で授業を行った。12 月になりコロナ感染状況がひどくなってきてからは、対面授業を同時配信するとともに、その録画も提供して復習もできるようにした。
ツール	✓ WebClass □ Webex ✓ Zoom □ Mediasite □ YouTube □ LINE ✓ その他(講義録画を収録した回には、Microsoft Stream にその講義録画を置いた。Microsoft Stream 上で動画のトリミングがしやすいので便利であるが、LTI には対応していないのが残念(ひよっとすると WebClass でも対応させる方法があるのかもしれないが。)
ある コマの授業プラン	そもそもオンライン授業に限らず、だいたいどの授業回でも、前回の振り返り(宿題のフィードバックを含む)をして、今日の内容を講義・演習している。
工夫した点	理解度確認クイズ(小テスト) 授業 3 回に 1 回程度、理解度確認クイズ(小テスト)を実施した。秋学期前半は紙ベースで実施し、解答紙をスキャンして WebClass にアップした。後半はすべて WebClass 上で実施した。
今後の改善点	対面講義をリアルタイムで配信し、かつ、オンデマンド受講にも配慮するのは、教員一人では限界がある。例えば、もし黒板を使いたいとしても、黒板の適切なところにカメラを向けてアップにする人がいない。定点カメラにするとしても、そのセッティングはたいへんである。できれば教室に天吊りにカメラを設置して常時黒板を映せるようにしていただき(黒板の横幅が広いときはカメラ 2 台が必要である)、その画像を PC 画面の画像と混合配置するような装置(例えば ATEM mini Pro など)を教卓に常備してもらえば、随分と楽になるはずである

これからオンライン授業に取り組まれる先生方へのメッセージ
Zoom に関してはいろいろな使い方をしていますので、質問していただければお役にたてることもあるかと思います。